

学校だより

2月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和五年一月三十一日



成長する子供・学校 〓 日本一の学校、白金小学校〓

校長 吉野達雄

今年の節分の恵方は南南東微南だそうです。この微南というのもまさに微妙な方でしつかり向くのが難しそうですね。みなさんが幸運に恵まれる一年になりますように願っています。暦の上では立春を迎え、春の訪れを感じる季節になります。まだまだ厳しい寒さは続きそうです。この時期に半袖で過ごしている子を何人か見かけ、すごいと感心しています。無理してはいけません。寒さだけでなく、一定の負荷をかけることが健康で丈夫な体を作ることにつながります。心も同様で、多くのことに悩んだり挫折をしたりしながら、それを乗り越えることで豊かに成長していきます。多くの友達や大人と関わる「学校」はまさに人生経験の場であり、成長するチャンスがたくさんあります。私たち大人はそれを見守り支えていくのが役割で、先回りしてすぐに手を差し伸べず。私たちは成長を妨げることになりますので気をつけましょう。子供たちは本当にかわいいので、つい口や手を出したくなりますが・・・。

【日本一の学校を越えた先には・・・】

コロナ禍において、様々な体験学習や体を動かす機会が減ったと言われていますが、先日の学習発表会はいかがだったでしょうか。英語劇や詩の群読、国語や生活科での成果の劇やパフォーマンス、どれもかわいく立派でした。高学年のプレゼンは、大人顔負けの技術の高さを感じました。白金小学校の子供たちは体も心も確実に大きく成長していることを実感した瞬間でした。先週の全校集会でも、白金小学校の子供たちは、すでに日本一の子供たちであるとみんなを褒めました。ある会社の経営理念に「地球上で最もお客様を大切にすることを指す」というがあるのを見ました。この「地球上で」というフレーズを聞いて、白金小学校も今後は、「地球上で最高の小学校」を目指すしかないと思えました。そのためにも、子供も大人もしっかり課題をもって、今年度もさらに飛躍していきましょう。

令和五年 一月十五日 白金小学校百四十七歳の誕生日おめでとうございます。

よりよい学校生活をつくる 白金小学校の子供たち

特別活動主任 忍田雄治

今年度、運動会をはじめ様々な特別活動の取組を実施することができました。その成果をいくつか紹介します。

「学級活動」では、学級生活の充実を目指して、他者と協働しながらよりよい学級や学校生活をつくらうとする姿が多く見られました。みんなで力を合わせて学級を盛り上げていくために、係活動を主体的に進め、ポスターや新聞などの掲示物を充実させていました。

「委員会活動」では、よりよい学校生活のために、できることを話し合い、どの委員会も積極的に活動することができました。代表委員会では、SDGsの視点をもって、古着を集めたり、ユニセフ募金を行ったりする様子が見られました。

「クラブ活動」では、それぞれの興味関心を尊重しながら活動することができました。図エクラブでは、異学年で構成されたグループを作り、協力して一つの作品を作り上げる様子が見られました。

「学校行事」では、運動会を通して、目標に向かって仲間と協力して粘り強く取り組むことや勝敗を受け入れることの大切について学びました。学習発表会では、日頃の学習の成果を一つの形にして発表しました。その過程で、自分や友達の良さに気付くことができました。プラチナタイムでは、異学年交流を活発に行うことができました。下級生への思いやりのある言葉かけや態度が見られ、思いやる意識の高まりが感じられました。

このように、年間を通じて様々な活動を通して、多様な考えに触れることで、よりよい人間関係について学び、協働的な活動の大切さを知ることができました。引き続き、白金小学校の特別活動を充実させ、よりよい学級・学校生活を目指していきます。



白金小学校
Twitter



学校 HP から
入れます。